



地域経済動向調査報告

令和元年度 第3四半期（10～12月）

〔総論〕

「江津市の経済は、回復基調にあるが経過観察が必要。」

	国	県
10月	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。	生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっているが、個人消費は緩やかに持ち直しの動きが続いており、雇用情勢は一部に充足感がうかがわれるものの改善が続いている。
11月	景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。	
12月	景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。	
参照	内閣府「月例経済報告」	松江財務事務所「島根県の経済情勢」

〔調査要領〕

- (1) 調査時点 2020年2月4日時点
- (2) 調査方法 郵送により実施
- (3) 調査対象 当所会員名簿から業種のバランスを考慮し抽出

	配布数	回答数	回答率	回答構成率
全業種	95	54	57%	100%
製造	20	9	45%	17%
建設	21	18	86%	33%
運送	7	4	57%	7%
卸・小売	28	15	54%	28%
サービス	19	8	42%	15%

1. 業況

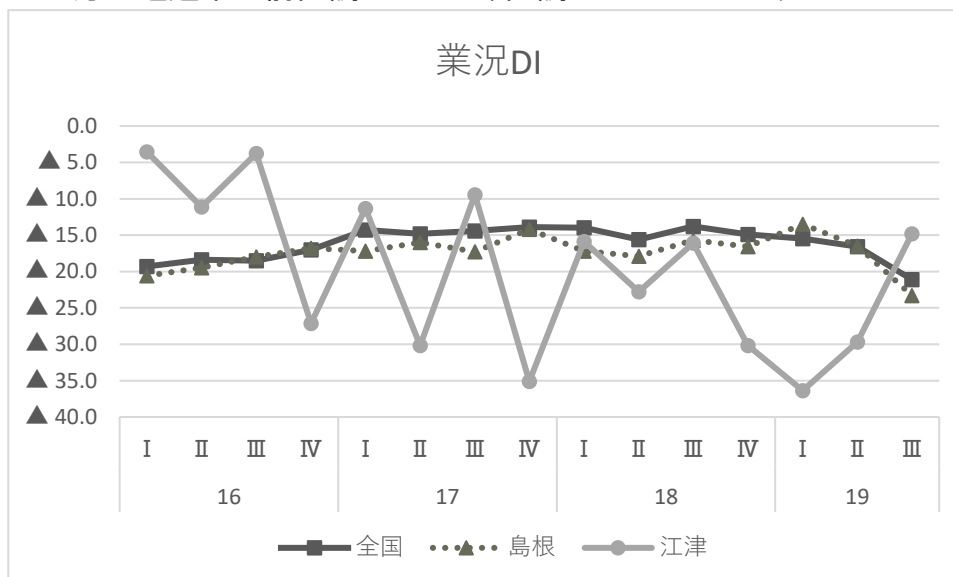
(1) 業種別の業況DI (各期間比較)

	前年同期と比べた 今期の状況	前期と比べた 今期の状況	前年同期と比べた 来期の見通し
全産業	▲ 15	▲ 15	▲ 23
製造業	▲ 33	▲ 11	▲ 11
建設業	12	▲ 22	▲ 25
運送業	▲ 25	▲ 25	0
卸小売業	▲ 7	13	▲ 20
飲食・サービス業	▲ 10	▲ 30	▲ 10

(2) 業況DIの推移 (前期比)

2019年10月から12月の業況DIは前回調査▲29.7⇒今回調査▲14.8となり、マイナス幅が縮小した。製造業が前回調査▲53.3⇒今回調査▲11.1、卸小売業が前回調査▲22.2⇒今回調査13.3と好転している。

一方で運送業は前回調査▲0⇒今回調査▲25.0とプラスからマイナスに転じた。

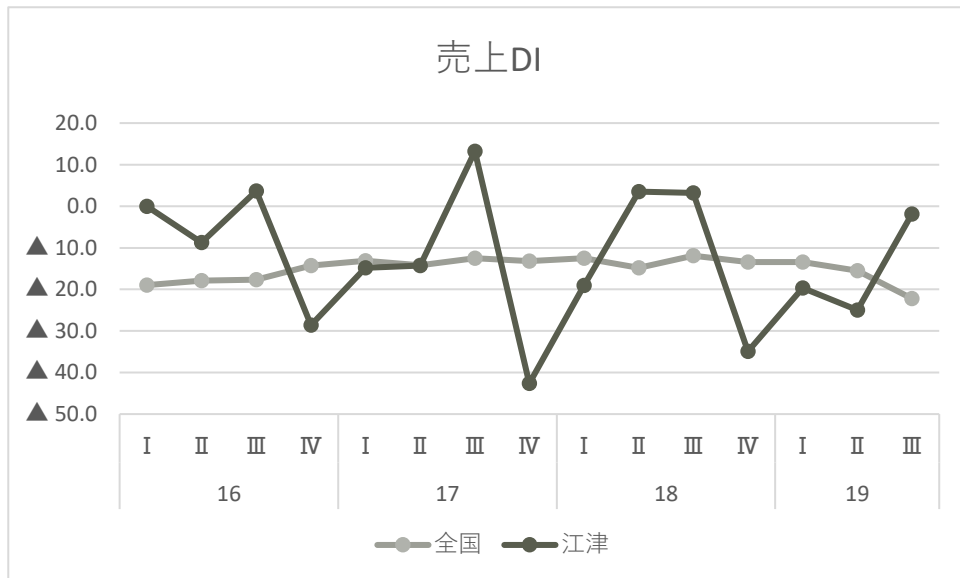


2. 売上高

(1) 売上高DIの推移（前期比）

2019年10月から12月の売上高は前回調査▲25.0から今回調査▲1.9とマイナス幅が縮小した。業種別にみても製造業（11.1）、建設業（5.6）はプラスに転じたほか、飲食・サービス業も前回調査▲33.3⇒今回調査▲10.0とマイナス幅が縮小した。一方で運送業は前回調査▲25.0⇒今回調査▲50.0と大きくマイナスへ転じている。

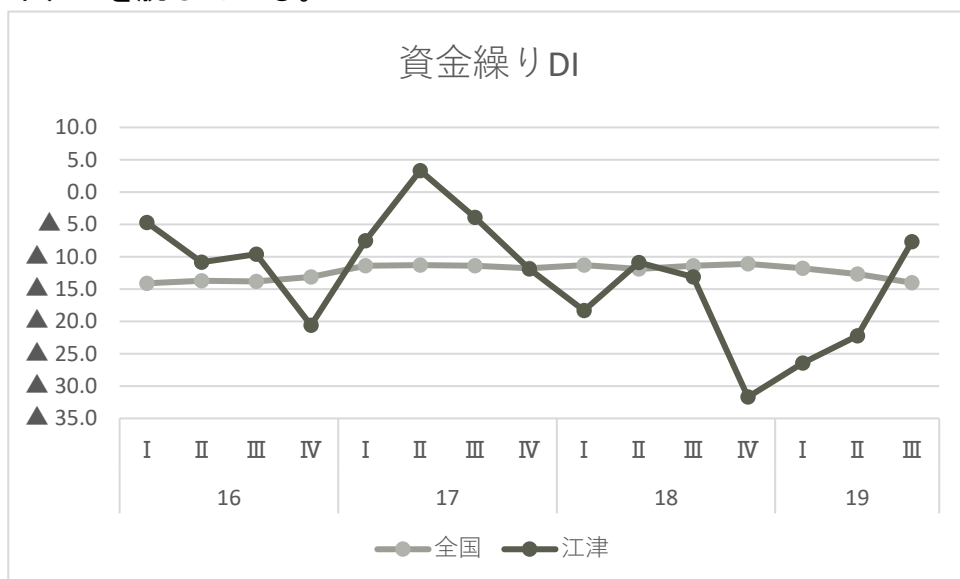
ただし、10月の消費税率引上げにより、税込経理の事業所については消費税分売上が増加していると考えられるので、引き続き経過観察が必要。



3. 資金繰り

(1) 資金繰りDIの推移（前期比）

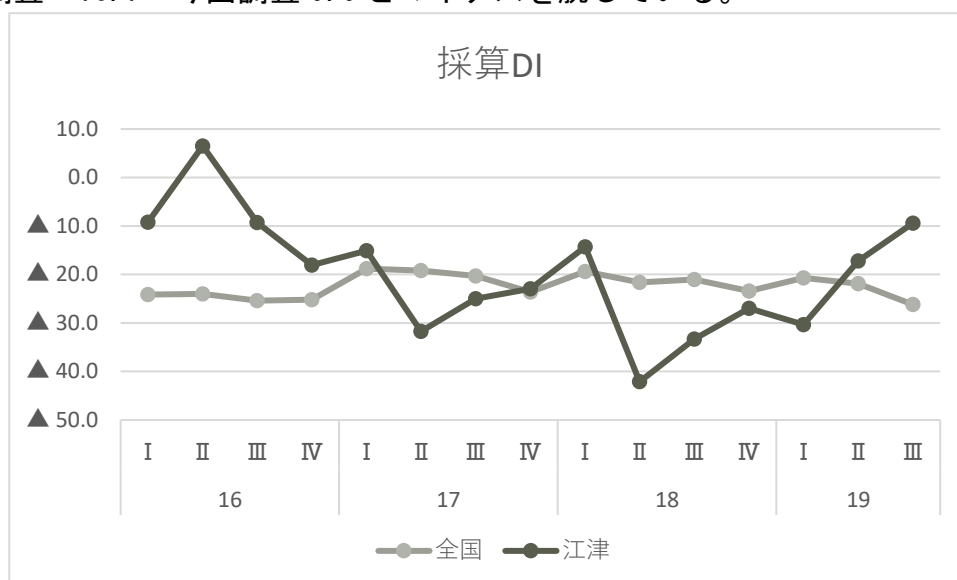
2019年10月から12月の資金繰り状況は前回調査▲22.2⇒今回調査▲7.7とマイナス幅が縮小した。特に製造業は今回調査0、卸・小売業は今回調査13.3とマイナスを脱している。



4. 採算（経常利益）

（1）採算（経常利益）DIの推移（前年同期比）

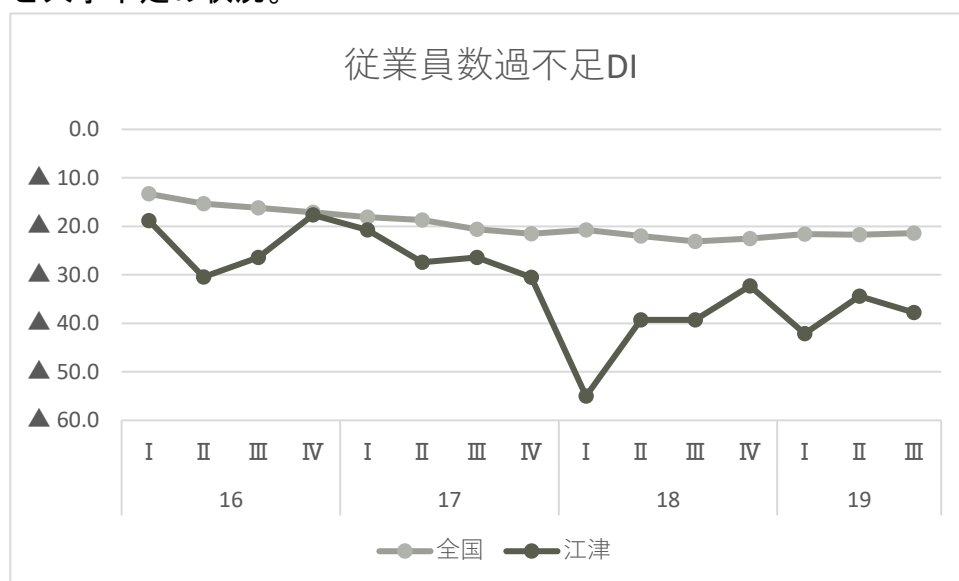
2019年10月から12月の採算は前回調査▲17.2から今回調査▲9.4とマイナス幅が縮小した。特に建設業は前回調査▲23.5⇒今回調査5.9、卸・小売業は前回調査▲16.7⇒今回調査0.0とマイナスを脱している。



5. 従業員数過不足

（1）従業員数過不足DIの推移（今期水準）

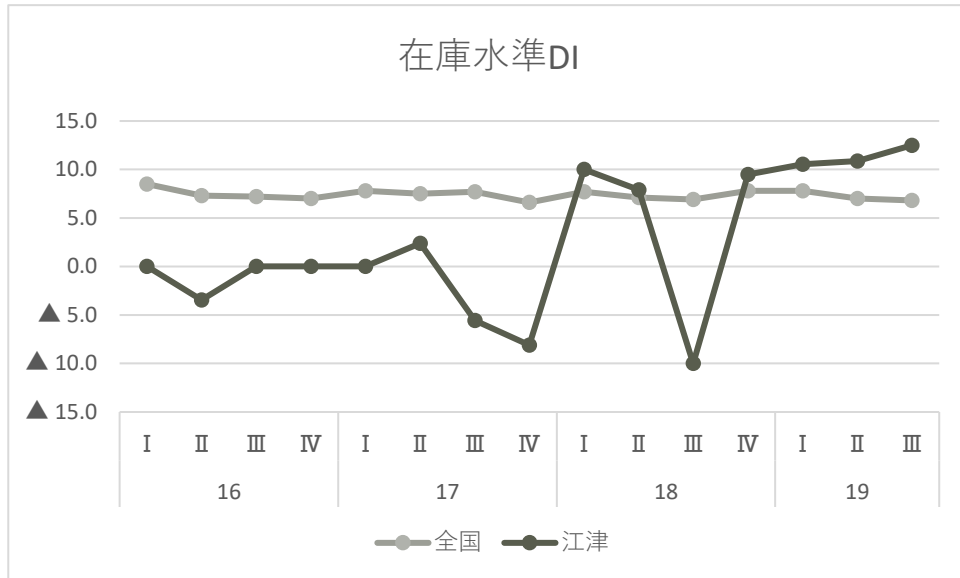
2019年10月から12月の従業員数過不足は前回調査▲34.4⇒今回調査▲37.7と、ほぼ横ばい。運送業では前回調査▲60.0⇒今回調査▲25.0、飲食・サービス業では前回調査▲44.4⇒今回調査10.0と回復基調にあるが、建設業では依然▲64.7と人手不足の状況。



6. 在庫水準

(1) 在庫水準DIの推移（今期水準）

2019年10月から12月の在庫は、前回調査10.9から今回調査12.5とほぼ横ばいの状況。



7. 経営上の問題点

01 競争の激化	02 仕入・材料価格の上昇	03 人件費の増加
04 材料費・人件費以外の経費の増加	05 従業員の確保難	06 需要の停滞
07 事業資金の借入難	08 金利負担の増加	09 設備や店舗の不足・老朽化
10 取引条件・代金回収悪化	11 製品・利用者ニーズ変化への対応	12 その他

上記より上位3つを選択方式にて回答。

業種	順位	課題	%	前々回→前回順位
製造業	1位	材料費・人件費以外の経費の増加	24.0%	1位 → 5位
	2位	需要の停滞	20.0%	1位 → 2位
	2位	設備や店舗の不足・老朽化	20.0%	1位 → 3位
建設業	1位	従業員の確保難	22.9%	2位 → 1位
	2位	材料費・人件費以外の経費の増加	20.8%	1位 → 3位
	3位	人件費の増加	18.8%	3位 → 2位
運送業	1位	需要の停滞	40.0%	1位 → 得票なし
	2位	従業員の確保難	20.0%	1位 → 2位
	2位	仕入・材料価格の上昇	20.0%	1位 → 得票なし
卸・小売業	1位	需要の停滞	29.7%	1位 → 1位
	2位	製品・利用者ニーズ変化への対応	18.9%	2位 → 6位
	3位	競争の激化	16.2%	2位 → 6位
飲食・サービス業	1位	設備や店舗の不足・老朽化	18.2%	2位 → 1位
	2位	<ul style="list-style-type: none"> ● 競争の激化 ● 人件費の増加 ● 需要の停滞 	13.6%	7位 → 4位 得票なし → 4位 3位 → 8位